

令和2年外務大臣表彰受章者発表：マーク・リトリアン・クイーンズ・パーク柔道クラブ会長（令和2年12月1日）

12月1日、日本国外務省は、令和2年度外務大臣表彰受賞者を発表しました。今年度表彰される172個人、65団体のうち、トリニダード・トバゴ関連では、リトリアンクイーンズパーク柔道クラブ会長への外務大臣表彰授与が発表されました。

マーク・リトリアン クイーンズ・パーク柔道クラブ会長



リトリアン氏は、1986年以來、講道館椎名清八段に師事し、複数の国際大会で優勝するなど長年柔道に携わり、2000年、トリニダード・トバゴ国最初の柔道場を設立しました。以降、同柔道場にて館長、同国柔道協会主任技術指導員、国際大会審判、柔道講演実施、また柔道関連書籍の執筆など、同国における柔道の普及に取り組んできました。同国柔道史上初の五輪参加となった2016年リオデジャネイロ・オリンピック柔道100キロ級代表クリストファー・ジョージ選手のコーチを務めたほか、現在、警察のトレーニングに柔道を取り入れる取り組みに尽力するなど柔道を通じた対日理解の促進に寄与しています。

外務大臣表彰は、多くの方々が国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としています。